

第400号

2014年

9月17日

どぶいたニュース

全損保日動外勤支部

東京都中央区銀座5-13-7

東銀座東京海上日動ビル1階

電話 03-3542-9857

FAX 03-3542-9858

教宣部 発行

支部定期大会開催

全損保と一体となって運動をすすめていこう

第137回支部定期大会が9月6日(土)、東京の中央大学駿河台記念館で開催されました。大会では昨年からすすめてきた運動についての総括とオルグで明らかになった課題について執行部より説明があり、これからどうすすめていくのかという具体的な取り組みについての提起がありました。

等級格付け問題では今年度は組織として異議申し立てをしていくことに対する確認の意見や、より結集できる組織のあり方についても意見が出され、運動方針が補強・補足されました。

全損保運動のあり方について、また全損保日新支部を守る有志の会のとりにくみについても説明があり、私たちに何ができるかということでカンパもおこなわれました。

議案はすべて全会一致で可決承認され、最後に大会決議を採択し、第2次川田執行部が具体的に動き出しました。大会決議は次ページに掲載しています。(なお、どぶいたニュースは今号で400号となりました。今後ともできるだけスピーディーな情宣を目指していきます)

新執行部は以下の通り。

執行委員長	川田 隆彦
副執行委員長	及川 肇・竹田 典央
書記長	田中 健一
副書記長	中嶋 尚正
執行委員	小野寺 真一・天野 秀樹
	堀 勲・渡辺 眞
	佐瀬 健一・陶山 幸男

全損保と一体となって運動をすすめていく決議

損保産業を取り巻く再編・合理化の状況は、この間ますます激化し、3メガ損保グループは数々の経営戦略を次から次へと打ち出し、私たち損保に働く従業員や代理店に対しても容赦ない合理化・効率化の攻撃を仕掛けている。そのなかでも合併を先行して来た東海日動社は90年代の損保自由化第一幕以降、損保NO1を目指して「抜本戦略」を打ち出し、社内・社外を問わず聖域なき改革をすすめ、新たな損保産業の在り方について模索し、各社をリードしてきている。同時に東海日動社は目指す「抜本改革」の最終章にむけて突き進み、新たな働き方と称して人件費を削減する仕組みや、何も言わず経営のためだけに働く社員への思想改革をすすめている。

私たちはこの一年、たたかひの原点に立ち返り、組織に結集するために全国職場オルグをおこなった。組合員一人ひとりと膝づめでの論議の結果、何が問題なのか、どうしていくことがいいのか明らかになってきた。本年度運動方針を策定するに当たり、このオルグを踏まえ、全組合員が結集できる体制をつくり上げるために必要なことを十分論議し、経営には「この組合に手を入れようとしたら大変なことになる」という体制を作り上げることの必要性を確認した。「和解があるから大丈夫だ」として現状を認識しない、情勢を把握しない姿勢では、経営から新たな提案があったときにたたかう姿勢が作れないということもあらためて確認した。

和解解決から5年が経過する今運動年度は、和解に至ったときの気持ちに立ち返り、支援していただいた全損保本部や他支部、OB、すべての方々に対する感謝と同時に、この組織があったからこそ、私たちの生活と雇用、労働条件が守られているということについても今一度確認することができた。そして私たちには、このことを全損保の仲間にも伝えていく責任がある。

今大会では多くの意見で運動方針が補強・補足され、全員でこの一年、取り組んでいくことが確認された。ひとりでは小さな力でも労働組合に結集することで要求が現実のものとなることはすでに私たち全員が経験している。全損保にそして日動外勤支部に結集することで、私たちの生活と雇用、労働条件が守られていること、経営からの分裂攻撃、制度廃止問題をたたかえたことを再度確認すると同時に、2015年度も確立した運動方針に確信を持ち、全員で力強くすすんでいこう。

2014年9月6日

全損保日動火災外勤支部第137回定期大会